



大学や短大の新入生が下宿生活を始める際に使った費用(学費などを除く)は、3年連続のマイ

## 入学時の費用

### 3年連続で減

大学生協連が調査

## 2012年1月16日 京都新聞より

ナス。全国大学生協連(東京)が行った「20

入學までに掛かった費用(住まい別、有償平均、円)	2008年 09年 10年 11年			
	住まい探しの費用	253,400	232,700	222,400
生活用品購入費用	81,200	78,400	74,900	74,600
	301,300	295,900	287,000	282,400

## 下宿生の新生活用品費用(円)

	2010年	11年
寝具	29,800	30,000
家具	45,100	44,600
家電用品	113,500	109,000
自炊用品	21,900	21,700
電話加入権など	12,100	12,100
電話機	35,100	39,300
日用雑貨など	30,500	28,700
衣類・小物など	60,400	60,300
計	287,000	282,400

11年度保護者に聞く新入生調査で、そんな実態が分かった。昨春、東北地方を除く全国107の大学生協に加入した新入生の保護者約2万2千人から回答を得た。それによると、下宿生の住まい探しの費用は19万9500円で3年連続減。08年と比べると5万3900円少なく、長引く不況による節約の傾向を示す。生活用品の購入費も、前年度より4600円減って約28万2400円。「寝具」と「電話

機」だけが上昇し、スマートフォン(多機能携帯電話)の購入者は約11%いた。自生、下宿生を合わせた全体の約92%が入学までに費用面の準備や工夫を行ったとしており、約6割が学資保険への加入、約4割が奨学金申請、約3割が貯蓄の切り崩しをしていた。

大学を選ぶ際に、自宅から通学できることを条件にした保護者は自生生の約74%を占め、特に女子は約80%だった。「入学までに困ったこと」として「震災に関すること」を挙げたのは全体の0.6%だったが、東京の下宿生に限ると3.4%で、防災面の不安が高かった。「大学生活を送る上で心配なこと」は、全体の約43%が「就職や将来のこと」を挙げた。



下宿生の住まい探しの費用合計は199,500円(前年比-22,900円)と減少し、3年前と比較すると53,900円も減っています。

内訳は「交通費」26,200円(前年比-1,600円)、宿泊費33,500円(前年比+600円)、礼金/敷金等合計127,700円(前年比-17,100円)、斡旋手数料39,700円(前年比-2,400円)、前家賃その他56,800円(前年比-2,100円)とほとんどの費目で減少。

当社では、遠方の方でもなるべく日帰りでお部屋探し可能なシステムでの対応、また、多くの貸主様のご協力による「インターネット無料化」の推進等により、多くのユーザーのニーズにお応えし、管理物件の入居率アップに努めております。

USAGI通信はメールでの送信も可能です！！

学生ハウジングホームページ [家主様へ](#) → [家主様相談窓口](#) の入力フォームにて  
ご相談内容のボックスに「USAGI通信希望」とご入力の上、送信ください。